

これまでの会議内容経過

資料 4

日 時	会議回数	開催場所	協 議 内 容
平成24年5月24日	第1回	町民センター	※会長、副会長選出 1 雄武町図書館を考える会設置要綱について 2 雄武町図書館を考える会会議の公開について 3 今後のスケジュールについて 4 雄武町図書館を考える会会議の開催時間等について 5 雄武町図書館の現状・課題等について ①23年度利用状況を資料により説明 ②施設・サービスの状況を資料により説明 ③図書館に関するアンケート調査結果を資料により説明 ④図書を活用したまちづくりセミナー議事録紹介
6月29日	第2回	町民センター	1 第1回会議の振り返り 2 糸賀教授による講演 テーマ 「まちづくりと図書館」
8月9日	第3回	町民センター	1 「雄武町の図書館の問題点は何か？」ワークショップ（その1） （Aグループ） ○どうにかして ・本を棚に詰め過ぎ、本が取り出しづらい、本と本の間が狭すぎる ・駐車スペースがない ・館内が狭い、天井が低い、館内が暗い、空調設備がない、建物のアピールが足りない、子どもが落ち着いて本を読むスペースがない ○もっと使いやすく ・本を選びたくても座って選ぶところがない、閲覧室がないに等しい、本を探してほしいが誰に声をかけたらよいか判らない、本を探すのが判りづらい、本の種類が少ない、専門書が少ない （Bグループ） ○駐車場が狭い、駐輪場がない ○図書館が狭い ・本を読む場所がない、学習スペースがない、書架の間が狭い ○施設が古い、行ってみようと思わない ○利用不便 ・仕事帰りに寄れない、お昼が開いていない（火・日曜） ○PR不足 ・本を見に行ったり借りたことがない、どんな本が入っているのか判らない、行くきっかけがな
(次葉へ続く)			
日 時	会議回数	開催場所	協 議 内 容

平成24年8月9日 (前葉から続く)	第3回	町民センター	い、利用方法が知られていない、あることを知らない人もいないのではないか ○本の種類冊数不足 ・漫画の割合が多い、本が少ない、美術書が減った ○本が探しづらい ・館内の見取り図がない、検索して見つけても書架にない本がある、絵本のコーナーが探しにくい、児童書に何でも含み過ぎ (Cグループ) ○設備 ・狭い(全体的)、建物が図書館らしくない、冬期間高齢者が滑る危険性がある(入口)、駐車場がない、照明が少ない、閉館時の返却口が狭い ○時間 ・閉館時間が早い、午前10時のスタートを9時頃にしたら ○本の配置 ・本の配置が判りにくい ・書棚(本棚)の下段からの取り出しが大変である ○本の種類 ・新刊書も2~3ヶ月で探すのが困難である、地元の産業に関する専門書が少ない ○その他 ・機能、交流、レファレンス(?)、コーディネート、ハイブリット 2「雄武町の図書館の問題点は何か？」ワークショップ(その2) その1で出された意見を「施設」「本」「機能」「PR」の4つに分け、問題点が大きい順に点数づけし、順に11点、8点、8点、3点とした。
9月20日 (次葉へ続く)	第4回	町民センター	1 第3回会議の振り返り(下記内容を確認) ①「雄武町の図書館の問題点は何か？」ワークショップ(その1) (Aグループ) ○どうにかして ・本を棚に詰め過ぎ、本が取り出しづらい、本と本の間が狭すぎる ・駐車スペースがない ・館内が狭い、天井が低い、館内が暗い、空調設備がない、建物のアピールが足りない、子どもが落ち着いて本を読むスペースがない ○もっと使いやすく ・本を選びたくても座って選ぶところがない、閲
日 時	会議回数	開催場所	協 議 内 容

平成24年9月20日 (前葉から続く)	第4回	町民センター	覧室がないに等しい、本を探してほしいが誰に声をかけたらよいか判らない、本を探すのが判りづらい、本の種類が少ない、専門書が少ない (Bグループ) ○駐車場が狭い、駐輪場がない ○図書館が狭い ・本を読む場所がない、学習スペースがない、書架の間が狭い ○施設が古い、行ってみようと思わない ○利用不便 ・仕事帰りに寄れない、お昼が開いていない(火・日曜) ○PR不足 ・本を見に行ったり借りたことがない、どんな本が入っているのか判らない、行くきっかけがない、利用方法が知られていない、あることを知らない人もいるのではないか ○本の種類冊数不足 ・漫画の割合が多い、本が少ない、美術書が減った ○本が探しづらい ・館内の見取り図がない、検索して見つけても書架にない本がある、絵本のコーナーが探しにくい、児童書に何でも含み過ぎ (Cグループ) ○設備 ・狭い(全体的)、建物が図書館らしくない、冬期間高齢者が滑る危険性がある(入口)、駐車場がない、照明が少ない、閉館時の返却口が狭い ○時間 ・閉館時間が早い、午前10時のスタートを9時頃にしたら ○本の配置 ・本の配置が判りにくい ・書棚(本棚)の下段からの取り出しが大変である ○本の種類 ・新刊書も2~3ヶ月で探すのが困難である、地元の産業に関する専門書が少ない ○その他 ・機能、交流、レファレンス(?)、コーディネート、ハイブリット ②「雄武町の図書館の問題点は何か?」ワークショップ(その2) その1で出された意見を「施設」「本」「機能」
(次葉へ続く)			
日 時	会議回数	開催場所	協 議 内 容

平成24年9月20日 (前葉から続く)	第4回	町民センター	「PR」の4つに分け、問題点が大きい順に点数づけし、順に11点、8点、8点、3点とした。 2 ワークショップによる協議 ①「私のつくる図書館」 (Aグループ) ○「楽しさ・喜び」「集まりやすい・みんなと集える・憩い・交流ができ和が育まれる」が有機的に繋がり、ぬくもりが生まれる図書館 ○「本がいっぱい・読みたい本があり・調べやすい・勉強しやすい・知識欲が湧く」図書館 ○「行きたい・行って満足できる」図書館 ○「ゆったり解放感のあるところ」 (Bグループ) ○「行ってみたい・こういう場所で読書がしたい」と思える・思わせる場所であるべき ○「地域の交流の場」「情報交換が期待できる」 ○幼児から高齢者までが集い、楽しく学習・本に親しむことができる図書館 ○町の歴史を知る場所 ○色々なイベントにより町民が足を運びやすい・また行きたいという意識が持てる図書館 (Cグループ) ○「新たな発見があったり、文化を感じ世界が広がる、講演会や朗読会にリンクする図書館」 ○「明るく開放的、きれい、落ち着く」図書館 ○「コミュニティの拠点、子どもの集まる(行かせたい)、家族で行きたいところ」 ②「どんな図書館をつくれますか」 (Aグループ) ○「空調・大きな窓・広々とした空間・高い天井照明が明るい」施設 ○「様々な部屋がある多機能な」施設 ○「ロードヒーティングや駐車場が広い等、安心できる」施設 ○「低く・見やすい書架等、便利な」施設 ○「トピックスコーナー設置・ポップな本のPRイベントの開催等、サービスの良い」施設 ○「専門知識のある司書」 ○「調べたい・借りたい本がすぐわかる」 (Bグループ) ○「老若男女、年齢に関係なく集える」場所 ○「図書館を主軸とした歴史の資料館機能」 ○「地元の特産品を活かした軽食・喫茶機能」 ○「何回でも足を運びたくなるような」施設 ○「色々なイベントを通して、絵本の読み聞かせや昔の遊びを教えられる」施設
(次葉へ続く)			
日 時	会議回数	開催場所	協 議 内 容

平成24年10月12日 (前葉から続く)	第5回	町民センター	○「コミュニティの拠点、子どもの集まる（行かせたい）、家族で行きたいところ」 「どんな図書館をつくりませんか」ワークショップ（Aグループ） ○「空調・大きな窓・広々とした空間・高い天井照明が明るい」施設 ○「様々な部屋がある多機能な」施設 ○「ロードヒーティングや駐車場が広い等、安心できる」施設 ○「低く・見やすい書架等、便利な」施設 ○「トピックスコーナー設置・ポップな本のPRイベントの開催等、サービスの良い」施設 ○「専門知識のある司書」 ○「調べたい・借りたい本がすぐわかる」 （Bグループ） ○「老若男女、年齢に関係なく集える」場所 ○「図書館を主軸とした歴史の資料館機能」 ○「地元の特産品を活かした軽食・喫茶機能」 ○「何回でも足を運びたくなるような」施設 ○「色々なイベントを通して、絵本の読み聞かせや昔の遊びを教えられる」施設 ○「利用する人によるボランティア組織を利用した環境整備委員会で、植栽等を行い施設の顔づくりを行う」 ○「カウンターを一元化しなく、あらゆる階層の利用者に見合った多様なカウンターが必要」 ○「トイレへの細やかな配慮が必要」 ○「玄関は広く明るいスペースに」 ○「談話室や学習室などの独立化」 ○「語らいスペースを」 ○「知恵を絞った借りる人の目線に合った陳列」 ○「冬期間、荷物を一時的に保管するスペース」 ○「機能（ソフト面）が向上すれば施設（ハード面）も引き上げられる」 ○「受入れ・担当職員は懷を大きく、愛情を持った対応を」 ○「施設に見合った資質、対応する際の優しさや笑顔が職員には必要」 ○「規則に縛られない柔軟な対応が職員には必要」 （Cグループ） ○児童センターと図書館を頻繁に行き来できる環境に」 ○「子どもの空間、大人の空間を」 ○「子どもが活字に親しめる環境を」 2 アドバイザー助言 ①ワークショップ意見の検証・協議について
(次葉へ続く)			
日 時	会議回数	開催場所	協 議 内 容

平成24年10月12日 (前葉から続く)	第5回	町民センター	○図書館は開いていれば、自分の都合の良い曜日・時間帯に使えることから、他の社会教育施設に比べ図書館ほどリピーターが多い施設はない。 ○「施設」「資料」「施設と資料をつなぐ職員」という図書館の3要素において、職員の力量が大きなウェイトを持つ。職員が優秀であれば、きちんと資料も選ばれる。 ○図書館の利用は無料、いつ・誰と行ってもそれぞれに居場所があるのが図書館。 ○年間にどれだけ本を買い足せるかが重要。常に新しい情報を入れ、そのために職員が配置され、職員もレベルアップし、常に新しい知識や技術を持てる条件を整えるべき。 ②第5回会議ワークショップに対して ○雄武町で出されている行政資料、例えば議会の記録・町広報紙・町からのお知らせなどの地域資料は図書館が持つべき。 ○雄武町で出されたものは全て図書館に納める「納本条例」を定めるべき。例えば、学校が出して父兄に配るようなもの、道東・オホーツク、雄武について書かれたもの・雄武にゆかりのある人が書いたものなど・・・。 ○雄武町の規模の中での産業（商業）構造を考えた時、図書館に軽食コーナーを開設することは、民業圧迫の可能性は否定できない。 ○視聴覚資料について、民間のレンタル業者と同じ品揃えをするなら、税金を投入してやるべきではない。 ○本の保管について、直射日光が当たる場所では本の劣化が早い。 ○一定のスペースが確保されれば、人の動線によってスペースが振り分けられる。完全な壁で仕切るのではなく、書架によって仕切るべき。 ○防音について、床はフローリングではなくカーペットが効果的。 ○広報の最大の効果が得られるものは利用者の口コミ、行き届いたサービス・イベントが充実していれば必ず評判は広がりを見せる。図書館のサポーターズクラブを立ち上げて図書館のことを広げていくことも低コストな広報の1つ。 ○図書館から出向くサービスが重要。小中学校での調べ学習への情報提供、高齢者施設へ出向いての学び・遊び等を一緒に行う、民間施設への本の配置など。 ○仕事の上で必要なこと、生活の上で必要なこと、住民にとって、どういう時に使える施設であっ
(次葉へ続く)			
日 時	会議回数	開催場所	協 議 内 容

平成24年10月12日 (前葉から続く)	第5回	町民センター	て欲しいのか、住民の期待をどんどん引き出していくのが図書館、それを実現するために何が求められているのかを十分認識する必要がある。
-------------------------	-----	--------	--